

事業継続計画

平成23年 4月 1日

株式会社ジオ・コミュニケーションズ

BCPの基本方針

当社においては、BCP（事業継続計画）を策定し、的確にこれを運用するために、当社の特性を踏まえつつ、緊急時に事業継続を図る上で重要な事項については、概要以下のとおりである。

・ BCP 策定・運用の目的

1．顧客様にとって

依頼者の調査計画への悪影響を抑える。

2．社員にとって

社員と家族の安全と雇用を守る。

3．地域にとって

地域の生活と経済へ貢献する。

・ 緊急時に事業継続を図る上での要点

1．企業同士の助け合い

協力・関連企業が共に BCP を学び、緊急時には助け合う。

2．商取引上のモラル

緊急時であっても協力企業や納品業者への支払いは滞らない。

3．地域への貢献

住民の安全のため、最善を尽くす。

・ BCP 及び災害計画の更新時期：毎年 2 月（年 1 回更新）

BCPの策定・運用体制

当社において、BCP（事業継続計画）を策定する体制、平常時に BCP の運用を推進する体制、及び緊急時に BCP を発動し、事業等の継続対策を推進する体制は以下のとおりである。

・ BCP の策定体制：

1．責任者：柳井 修一

2．サブリーダー：川野 辰康、赤堀 良光

・ 平常時における BCP の運用推進体制：

1. 責 任 者：川野 辰康
2. サブリーダー：赤堀 良光
3. 取引先企業や協力会社：株式会社ジパング・コミュニティ・サービス等
4. 一緒に取組む組合等の組織：なし
5. BCP 運用の対象者：社員全員で運用

・ 緊急時における BCP の発動体制：

1. 責 任 者：柳井 修一 〔代行者〕川野 辰康
2. 顧客・協力会社担当サブリーダー：川野 辰康 〔代行者〕赤堀 良光
3. 事業担当サブリーダー：赤堀 良光 〔代行者〕赤堀 良光
4. 財務担当サブリーダー：川野 辰康 〔代行者〕赤堀 良光
5. 社員支援担当サブリーダー：赤堀 良光 〔代行者〕宮鍋 麻歩

中核事業に係る情報

当社における中核事業及びそれに係る情報は以下のとおりである。

中核事業	地質解析事業	
中核事業の社内責任者	川野 辰康（常務取締役）	
中核事業中断の場合の損失額 （含む違約金等）	売上高 7百万円 / 月（平成22年平均）	
中核事業による技術提供先	会 社 名	
	主要連絡先（電話番号等）	
	社内担当者	
目標復旧時間	大規模地震 1週間程度	
中核事業中断可能性がある災害等	地震（東海地震等）、台風等	
備 考		